

西南小の風

だれかのために じぶんのために いっしょうけんめい

はじめての給食!



四月十七日、一年生ははじめての給食でした。この日のメニューは、ポークカレーライス、春キャベツのサラダ、おいわいゼリー、牛乳でした。義務教育最初の給食は、全国的にカレーライスが多いようです。家庭でも馴染みのあるメニューで安心して食べられることや、配膳のしやすさなど、様々な利点があるからです。

「おいしいですか?」「おいしー!」と皆が頬張っていました。美味しそうに食べる姿がうれしいです。しかし、担任はまだ様子を見ています。もっと食べたいと訴える子どもに対応したり、牛乳パックにストローのさし方がわからない子どもを見つけたら全体にそれを教えたりしています。一学級に担任の他、二、三人の職員が入り、給食室から給食をどうやって運ぶか、どう注ぎ分けて配膳するか等「いただきます」までの様々な指導があります。子ども達が必要とする。それは数か月だったり、目指すところによっては数年だったりします。限られた時間で慌ただしく指示、指導し「いただきます」となり、子ども達が美味しく食べて、食べる姿を見て、担任も自分の給食を掻き込みます。そして、次は片付けが始まるのです。<

次の日、六年生ははじめての全国学力学習状況調査でした。この学力調査は、小六と中二で実施されます。基礎的・基本的な学力が学習意欲とともに測られます。この調査結果で毎回指摘されるのが、朝食の重要性です。「朝ご飯をしっかり食べてくる子どもは学力が高い傾向にある」ことは明確です。小六でも中二でも同じ傾向にあります。三度ある食事が子どもに与える影響はとても大きいです。>



たのしい六年生!

「いっしょうけんめい」が、「できた」につながる!

ちなみに、今年で百五十年の歴史を持つ本校で完全給食が始まったのは、昭和三十三年九月です。写真は昭和三十八年の様子ですが、班にして和気あいあいと食べるのは今と同じです。(もうすぐ班にして食べることができるとなると思いますが。)

西南小は自校式給食です。これから様々な工夫がなされたおいしい給食を、感謝しながら皆で食べていきます。学校での食育の最前線として、子どもたちの学びや育ちに大きく関わることをふまえ、給食を大切にしていきたいと思えます。



今からちょうど60年前の6年生の給食の様子

ご来校に感謝!

十九日(水)の授業参観・学級懇談・PTA総会は、多数の保護者の皆さまにご来校いただきありがとうございました。たくさんの方に来ていただいたおかげで学校が活気に満ちあふれていました。

授業参観も大入りで、子どもたちが「家の人来てるかな?」とキョロキョロしてしまったり、二人の初任の先生もかなり緊張の面持ちで授業していました。こちらも「はじめて」です。

今年も、様々なことがコロナ前に戻っていく見込みです。今後とも多数のご来校をお待ちしております。

カチンコチン

